

令和2年度 公益財団法人ひょうご子どもと家庭福祉財団

事業報告

自 令和2年4月1日 至 令和3年3月31日

[1] [療育指導事業 (子ども発達支援センター)]

さまざまな障がいのある子どもたちの主体的な発達を支援するために、子ども発達支援センター・こうべ、さんだ、はんしんにおいて、理学療法、作業療法、聴覚言語療法などを用いて働きかけをした。

(1) 通所訓練事業 (個別・グループ)

在籍児数	「子ども発達支援センター・こうべ」	225名
	「子ども発達支援センター・さんだ」	131名
	「子ども発達支援センター・はんしん」	33名
	計	389名
	(前年)	354名)

[個別訓練]

月4回または月2回、個別で聴覚言語療法・理学療法・作業療法などを実施した。

計 378名

[グループ訓練]

月2回、グループによる [聴覚言語療法]、[感覚統合療法] を実施した。

○ 聴覚言語療法	「子ども発達支援センター・こうべ」	計 9名
○ 感覚統合療法	「子ども発達支援センター・さんだ」	計 2名

訓練児内訳：

年齢別内訳		地域別内訳	
0歳～2歳	3名	神戸市	230名
3歳～5歳	64名	三田市	120名
6歳～8歳	173名	西宮市	16名
9歳～12歳	132名	尼崎市	11名
13歳以上	17名	川西市	4名
合計	389名	芦屋市	2名
		伊丹市	2名
障がい別内訳		加東市	2名
発達障がい	344名	宝塚市	1名
知的障がい	34名	西脇市	1名
肢体不自由	6名		
重複障がい	2名		
構音障がい	2名		
その他	1名		
合計	389名	合計	389名

月4回の通所児21名

月2回の通所児368名

訓練費減額サービス利用人数 8名

## (2) 相談・指導事業

相談児内訳：

年齢別内訳		地域別内訳	
0歳～2歳	18名 (23名)	神戸市	137名 (146名)
3歳～5歳	84名 (90名)	三田市	115名 (136名)
6歳～8歳	103名 (112名)	西宮市	1名 (1名)
9歳～12歳	36名 (38名)	芦屋市	1名 (1名)
13歳以上	17名 (25名)	川西市	1名 (1名)
合計	258名 (288名)	篠山市	1名 (1名)
		加東市	1名 (1名)
障がい別内訳		多可郡	1名 (1名)
発達障がい	237名 (264名)		
知的障がい	14名 (17名)		
肢体不自由	2名 (2名)		
構音障がい	2名 (2名)		
聴覚障がい	1名 (1名)		
その他	2名 (2名)		
合計	258名 (288名)	合計	258名 (288名)

\* ( ) は延べ人数

相談内容内訳：

相談内容			
訓練評価	151名 (154名)	発達評価	95名 (114名)
訓練 (不定期)	4名 (11名)	発達相談	6名 (7名)
進路相談	2名 (2名)		
合計	258名 (288名)		

\* ( ) は延べ人数

相談費免除サービス利用件数 258件

## (3) 他団体への療育指導事業

療育支援の要請があった施設や学校に、訓練士が出向き、訓練や相談を行った。

派遣先	言語聴覚士	作業療法士	理学療法士
神戸市総合療育センター	11名/週	19名/週	15名/週
神戸市西部療育センター	10名/週	21名/週	5名/週
神戸市東部療育センター	8名/週	18名/週	5名/週
三田市立ひまわり支援学校小学部	1名/月	1名/月	1名/月
三田市立ひまわり支援学校中・高等部	1名/月	1名/月	1名/月
児童発達支援センターかるがも園 (三田市)	4.5名/週	6.5名/週	2名/週
はりま自立の家 (宍粟市)	2名/週	3名/週	6名/週
しろう自立の家 (宍粟市)			1名/週
はんしん自立の家 (宝塚市)			6名/週
井口小児科・内科医院 (神戸市垂水区)	1名/週		
猪名川町療育事業	2名/週	2名/週	1名/週
ウエルネット三田	2名/月	2名/月	2名/月
こどもコミュニティケア (神戸市垂水区)	1名/週		2名/週

週、月または年当たりの延派遣人数

#### (4) (第44回) ことばの巡回相談 (心身障害幼児言語巡回相談指導事業)

兵庫県下の保健センターや健康福祉センターなどに依頼し、各地域に出向き、さまざまなことばの問題を主訴とする子どもたちの言語症状を評価し、ことばの発達を援助するための指導を行った。

日 程：令和2年8月3日(月)～8月31日(月)

(但し、8月10日(月)～8月14日(金)の夏季休暇、及び土・日曜日・祝日を除く)

場 所：兵庫県下の保健センター等 6ヶ所

指 導：当センター言語聴覚士

指導児数：32名

後 援：兵庫県

実施場所・日程：

地域	実施場所	実施日程
東播	多可町健康福祉センター	8月17日(月)
西播	福崎町保健センター	8月6日(木)
但馬	香美町役場	8月18日(火)
	朝来市保健センター	8月18日(火)
	豊岡市保健センター	8月18日(火)、19日(水)、20日(木)
	新温泉町保健福祉センター	8月20日(木)

対象児内訳：

年齢別内訳		障がい種別	
3歳未満	0名	言語発達遅延	12名
3歳	2名	構音障がい	8名
4歳	8名	発達障がい	6名
5歳	15名	吃音	3名
6歳	7名	知的障がい	2名
7歳以上	0名	その他(特に問題なし)	1名
合 計	32名	合 計	32名

#### (5) 療育研修会

療育の専門職や保護者が、多くの情報をもって、より質の高い支援をするために療育研修会を開催した。

<1> 「発達性協調運動障害(DCD)の理解と今について ～コロナ禍に負けないカラダ作り～」

日 程：令和3年2月13日(土)

場 所：オンライン配信(こども発達支援センター・こうべより配信)

講 師：澤江 幸則先生(筑波大学 体育系 准教授)

受講者：71名

受講者内訳：

地域別内訳		職種別人数	
兵庫県	9名	保育士	3名
京都府、大阪府	各4名	作業療法士	各2名
富山県、岡山県	各3名	講師	
広島県	2名	(リトミック/子育て教室)	

群馬県、東京都、神奈川県 岐阜県、滋賀県、和歌山県 福岡県、熊本県、鹿児島県	各1名	支援者、通級指導者、 保護者	各1名
無回答	9名	無回答	33名
財団職員	28名	財団職員	28名
合計	71名	合計	71名

< 2 > 「偏食を抱える発達障がい児の理解と支援」

※当初、計画していた“シェルボーン・ムーブメント入門”研修会が、参加者同士が身体接触を伴う実技講習が組み込まれている研修会であり、コロナ禍においては実施が難しいと判断したため、代替の研修会として実施した。

日 程：令和3年3月7日（日）

場 所：オンライン配信（子ども 発達支援センター・こうべより配信）

講 師：立山 清美先生（大阪府立大学 作業療法科 准教授）

受講者：106名

助 成：神戸市社会福祉協議会 障害者福祉基金 清水事業助成

受講者内訳：

地域別内訳		職種別人数		
兵庫県	21名	作業療法士	14名	
大阪府	6名	保育士	12名	
愛知県	3名	教諭	13名	
北海道、京都府	各2名	言語聴覚士	7名	
鹿児島県		指導員	4名	
山形県、茨城県、埼玉県、 千葉県、東京都、静岡県、 岐阜県、奈良県、岡山県、 鳥取県、徳島県、愛媛県、 福岡県、熊本県	各1名	管理栄養士、栄養士	5名	
無回答		23名	看護師	3名
			臨床心理士、保健師 児童発達支援管理責任者 保護者	各2名
無回答	23名	理学療法士、相談支援員	各1名	
		調理師		
		無回答		4名
財団職員	33名	財団職員	33名	
合計	106名	合計	106名	

< 3 > 保護者のための療育講座「家庭でできる支援について」

内 容：発達の遅れや困り感を持つお子さんの保護者を対象に「運動面」「遊び」「ことば」の3つの側面に対して分かりやすく解説した冊子を作成し、配布した。

タイトル：「家庭でできる支援について ～運動・遊び・ことば～」

- ・運動発達を促すからだの土台作り
- ・手先に不器用さのあるお子さんに対する遊びの支援
- ・お子さんの発達を促すことばかけ、家庭でできることば遊び

監 修：井出 浩先生（浅野神経内科クリニック）

佐浦 隆一先生（大阪医科薬科大学

医学部総合医学講座 リハビリテーション医学教室 教授）

配布時期：令和3年2月より配布開始

助 成：兵庫県共同募金/NHK歳末たすけあい

## (6) 講師の派遣

要請のあった団体（学校、幼稚園、保育所、療育施設など）に、職員を講師として派遣した。

派遣先	テーマ	受講者数	実施者
かるがも園 (保育所等訪問事業)	「すぐに役立つ 気になる子どもへの理解と支援」 ～子ども療育講座～	延べ約50名	財団職員 2名
三田市医師会	どないすんねん？ 在宅医療的ケア児のリハビリ	約100名	財団職員 1名

## (7) 実習生・研修生の受け入れ指導

依頼があった学校の学生を受け入れて、指導した。

学校名	期間	受け入れ学生数
神戸総合医療専門学校 作業療法士科	令和2年 6月22日 ～8月26日	1名
兵庫医療大学 リハビリテーション学部 作業療法学科	令和2年 8月31日 ～9月19日	1名
関西医療大学 保健医療学部 作業療法学科	令和3年 3月1日 ～3月5日	1名
藍野大学 医療保健学部 作業療法学科	令和3年 3月15日 ～3月19日	1名
神戸総合医療専門学校 言語聴覚士科	令和2年 10月12日 ～11月9日	1名
姫路医療専門学校 言語聴覚士科	令和2年 11月9日 ～11月27日	1名
	令和2年 11月30日 ～12月18日	1名

## (8) 児童発達支援・放課後等デイサービス

通所児：児童発達支援	10名(週)
放課後等デイサービス	10名(週)
計	20名

## [2] [激励支援事業]

### (1) ウィンタースクール2020

日 程：令和3年3月6日（土）

場 所：六甲山スノーパーク

内 容：六甲スノーパークにてソリや雪だるま作りなどの遊びを通して、一人ひとりの“○○したい”という気持ちを引き出し、主体性や協調性を育み、自信を得られるように支援した。

援 助：神戸市社会福祉協議会 障害者福祉基金 フェスピック事業助成

参加児：小学生 10名 スタッフ8名

参加児内訳：

地域別人数		学年別人数	
神戸市	7名	1年生	1名
三田市	2名	2年生	2名
猪名川町	1名	3年生	3名
		4年生	2名
		5年生	2名
		6年生	0名
合計	10名	合計	10名

### (2) 第41回 秋のレクリエーションツアー

日 程：令和2年9月26日（土）

場 所：キッズニア甲子園

内 容：阪神・神戸地域の障がいのある子どもたちと家族を対象に、楽しみながら仕事にチャレンジし、社会のしくみを学ぶことができる「キッズニア甲子園」へのツアーを開催した。

援 助：兵遊協福祉基金

神戸市社会福祉協議会 児童福祉基金 唐川民間社会福祉団体事業助成

物品寄贈：丸中製菓株式会社・サントリー酒類株式会社・アサヒフーズ株式会社

参加者：子どもと家族 47家族 125名 スタッフ 10名

参加者内訳：

地域別人数		年齢別人数 (対象児・者)	
神戸市	28家族 (79名)	3～5歳	15名
三田市	6家族 (16名)	6～8歳	21名
宝塚市	5家族 (12名)	9～12歳	9名
尼崎市	5家族 (11名)	13～15歳	2名
芦屋市	1家族 (3名)		
西宮市	1家族 (2名)		
川西市	1家族 (2名)		
合計	47家族 (125名)	合計	47名

### (3) 子どもたちの個性を育てる活動

身体活動をとおして、子どもたちの身体能力の発達と精神的な発達を支援した。  
中学生・高校生クラブは、将来の社会参加を見据えて、社会適応能力を養った。  
場 所：子ども発達支援センター・さんだ

活動	実施曜日	登録人数	活動回数	延参加人数
トランポリン	毎週火・木曜日	31名	75回	624名
体操教室	水曜日	15名	19回	255名
少林寺拳法	毎週日曜日	9名	19回	91名
中学生クラブ	月1回土曜日	3名	12回	33名
高校生クラブ	月1回土曜日	2名	12回	17名
自然体験クラブ	月1回土曜日	11家族	14回	235名

### (4) 西宮ストークス バスケットボール 試合招待 Kids Dream Project

プロバスケットボールチーム、西宮ストークスの選手が子どもたちと家族を試合にご招待下さった。感染防止のため、試合観戦後の選手との交流はなかったが、選手のサイン入りグッズを頂いた。

招待日程：令和2年12月6日（日）西宮市立中央体育館 11家族 37名

### (5) 他団体事業援助

子どもたちの発達援助のために、他団体が開催している事業に援助をした。  
・日本シェルボーン協会活動支援

### (6) 海外療育支援事業

検討作業のみ実施した。

## [3] [愛護思想啓発事業]

### (1) 啓発文書の発行

- ① 令和元年度 事業報告書  
発行日：令和2年5月 発行数：3,000部
- ② 短報の発行  
発行日：令和2年9月 発行数：1,700部  
令和3年3月 発行数：2,000部
- ③ 「財団だより47号」(機関紙)  
発行日：令和2年11月 発行数：3,000部

### (2) 令和2年度療育募金

期 間：令和2年5月～3年3月

内 容：子ども発達支援センターの「初回相談料無料」や「非課税世帯への訓練費減免」のために、年間の療育活動に対する募金を行った。

協力団体・個人：

ロータリークラブ	9	その他団体	60
ライオンズクラブ	1	個人	20
社会福祉協議会	4		
合計			94件

### (3) 令和2年度「サマープログラム募金」

期 間：令和2年5月～3年3月

内 容：「秋のレクリエーション・ツアー」「ことばの巡回相談」「ウィンタースクール2020」を実施するために募金を行った。

協力団体・個人：

ロータリークラブ	7	その他団体	47
ライオンズクラブ	1	個人	17
社会福祉協議会	4		
合計			76件

### (4) 賛助会員の募集

期 間：通年

内 容：個人や団体に向けて、障がいのある子どもたちへの理解を深めていただき、子どもたちの活動を支援して下さる「賛助会員」を募った。

協力会員数：1,094名（前年1,037名）

### (5) チャリティーボックス募金

期 間：通年

内 容：病院やホテル、飲食店などにチャリティーボックスを設置してもらい、募金を呼びかけた。

設置協力数：326ヶ所

### (6) 子ども未来応援募金

期 間：通年

内 容：家庭用のチャリティーボックス（募金箱）を配布し、個別寄金を募った。

協力者数：2件

### (7) 令和2年度歳末募金

期 間：令和2年12月～令和3年1月

内 容：障がいのある子どもたちを支援する活動を、継続的に進めるために、個人・団体に向けて、歳末の寄付のお願いを呼びかけた。

協力数：645件（前年度626件）